

# 山口大学保健管理センター便り (必読)

2020 年 4 月 6 日発行 (267 号)

山口大学保健管理センター (電話) 083-933-5160

HP: <http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~hoken/index.html>

山口大学では、教職員を対象にがん検診の申し込みを受け付けています (5月10日まで)。  
今回はがん検診について、臨時でお知らせ致します。

## がん検診

保健管理センター  
教授 奥屋 茂

### はじめに

日本人は生涯において2人に1人はがんに罹ると言われています。今回はこのがんの検診がテーマです。がん検診の目的は、見つけることだけでなく、検診の対象となる集団の死亡率・罹患率を低下させることなのです。がん検診には、住民・職域検診に代表される「対策型検診」と人間ドックなどの「任意型検診」があります。

### 対策型検診

対象集団全体の死亡率を下げる目的として、特異度の高い、有効性が確立された検査法で実施されます。公的予防対策として行われるため、費用は無料か少額の自己負担で済みます。市町村の他、職域等の保健事業として行っています。本学でも積極的に取り組んでおり、国が推奨する方法・受診間隔で学内で実施し、対象者は無料で受診することができます。

### 任意型検診

個人の死亡リスクを下げるため、医療機関などが任意で提供するもので、基本的には全額自己負担です。様々な方法があり、感度の高い検査が優先され、目的・好みに合わせて選択できます。本学では、胃がんリスク検診・前立腺がん検診を学内定期健診時に実施しています。

### 対策型検診としての5種類のがん検診

日本人のがん死亡率第1位は肺がん、第2位は大腸がんです。これらを含む5種類のがんが、対策型検診の対象です。それぞれ特定の方法で行う検診を受けることで早期に発見でき、治療を行うことで死亡率が低下することが科学的に証明されているのです。

・胃がん：問診・胃部X線検査、指針では50歳以上2年に1回となっていますが、本学では40歳以上に毎年実施しています。  
・大腸がん：問診・便潜血検査、40歳以上毎年実施



・肺がん：問診・胸部X線検査、喀痰細胞診(対象該当者)、40歳以上毎年実施  
・乳がん：問診・マンモグラフィ、40歳以上2年に1回実施



・子宮頸がん：問診・視診・細胞診・内診、20歳以上2年に1回実施

### がん検診のメリット・デメリット

がん検診には、メリットとデメリットがあります。

・**早期発見**：検診は自覚症状が無い時点で行われることから、がんの早期発見が可能です。さらに、がんになる前の病変が発見されることもあり、がんになることを防ぐこともできます。  
・**偽陰性**：見つけにくい場所や形をしている場合には発見できないこともあり、精度は100%ではありません。検診を受け続けることで発見できる確率は高まり、死亡を回避できる可能性も高くなります。  
・**偽陽性**：精密検査を行っても、がんが発見されないことを指します。要精査とされた場合でも、真にがんと判定されるのは、胃がん検診で約1.5%、乳がん検診で約4.2%とされています。結果的には unnecessary 検査が行われたことになり、受診者には結果がわかるまでの心理的負担もかかることとなります。

### 最後に

国は5つのがんを対象に、指針を作って検診を勧めています。日本人のがん検診受診率は上昇傾向にあるものの、目標の50%には達していません。そこで、学内で提供している、科学的に効果が検証された“対策型検診”をより多くの方に受けていただきたいと思います。また、要精査判定を受けた人は、精密検査を必ず受けてください。がんの多くは、治療が期待できる状況になってきていますから。

### 参考・引用

1) 日本対がん協会：<https://www.jcancer.jp>  
2) 知っておきたいがん検診：<https://www.med.or.jp/forest/gankenshin/>

本学で実施しています全てのがん検診は、5月10日までに、専用サイトからお申し込みください。  
今年から肺がん検診(喀痰検査)・大腸がん検診(便潜血検査)もWeb申し込みとなります。  
(<https://ds23p.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~jimu/gakunai/po-login/form/?en=200313140650>)。

自己負担額がある場合は、受診後、給与から天引きされます。

肺がん検診、大腸がん検診、胃がんリスク検診、前立腺がん検診は一般定期健康診断時(7~9月)、胃がん検診は8月、乳がん検診及び子宮頸がん検診は12月に実施予定です。